

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第12週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第12週分 3月18日～3月24日（3月27日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：244人、定点医療機関当たり5.08人、新規患者推計値※：1,152人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

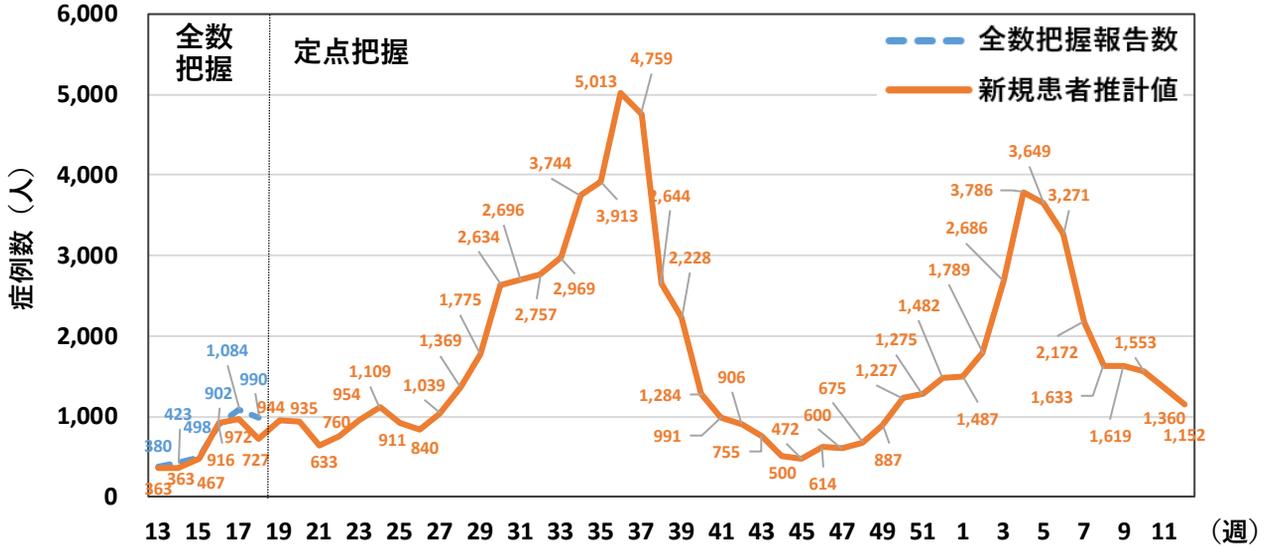


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

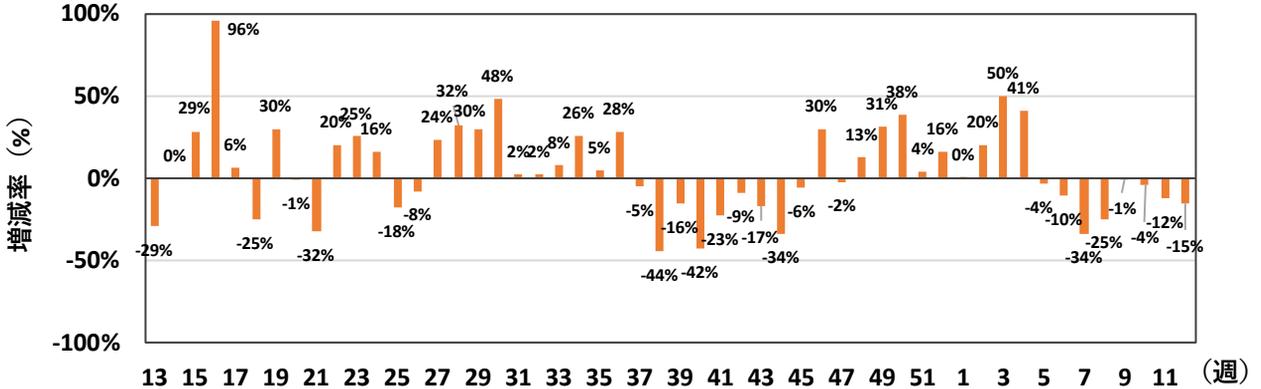


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第12週）

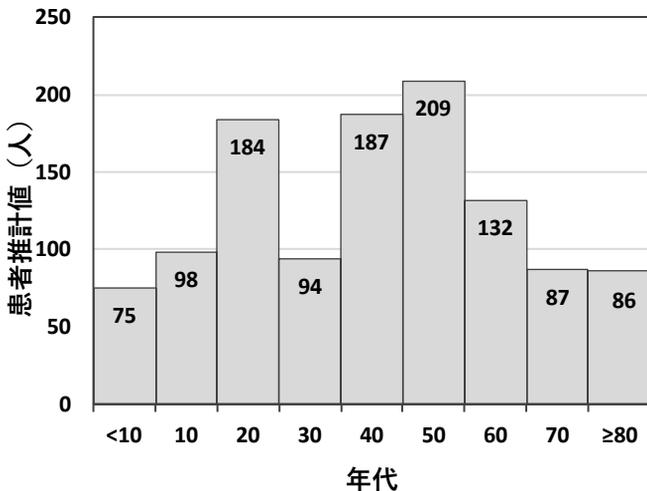


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第12週）

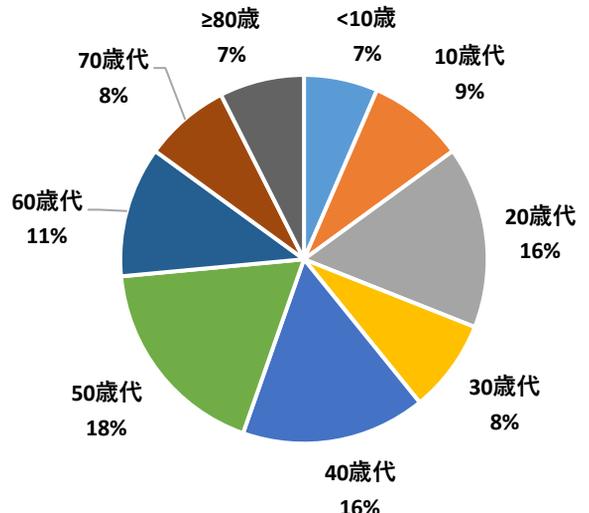


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

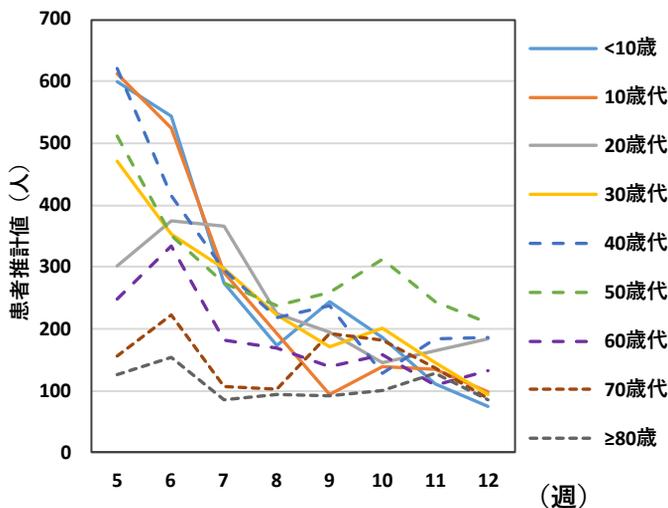
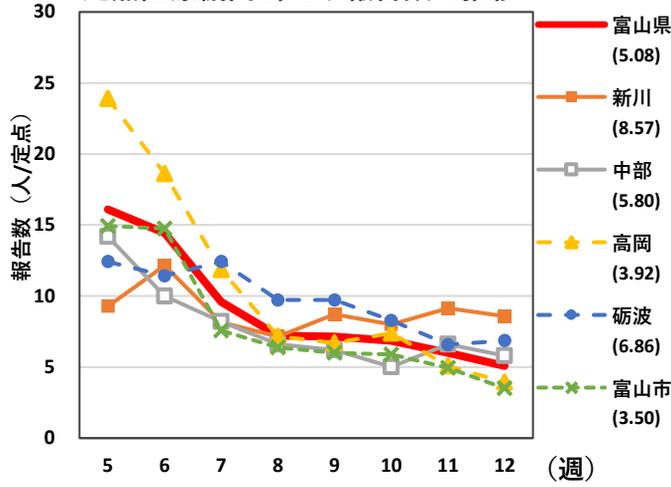


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移



※ ( ) 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第12週、30例）

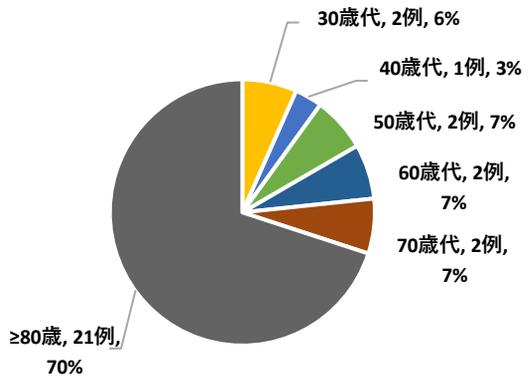
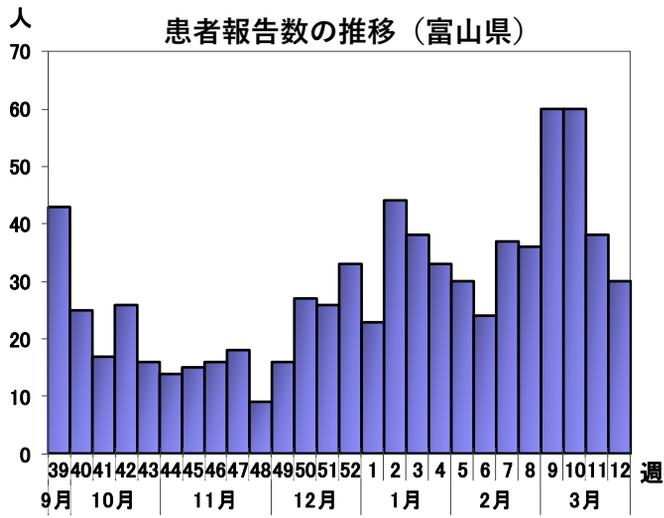


図8. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）



**第12週（3/18～3/24）時点での所見と評価**

- 第12週の定点医療機関当たり報告数は5.08人、新規患者推計値は1,152人であった。前週推計値（第11週、1,360人）から15%減少した（図1、2）。
- 第10週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く18%を占め、次いで40歳代、20歳代が共に16%を占めた。60歳以上の割合は26%で先週（27%）から横ばいであった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。20歳代、60歳代で先週から増加が認められた。一方、その他の年齢は減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で5.08人/定点であり、先週（6.00人/定点）からやや減少した。すべての管内で先週から減少または横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第12週に30例の入院報告があり、先週（38例）から減少した。年代分布では、60歳代、70歳代が各2例、80歳以上が21例で、60歳以上が84%を占めた。（図7、8）。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。